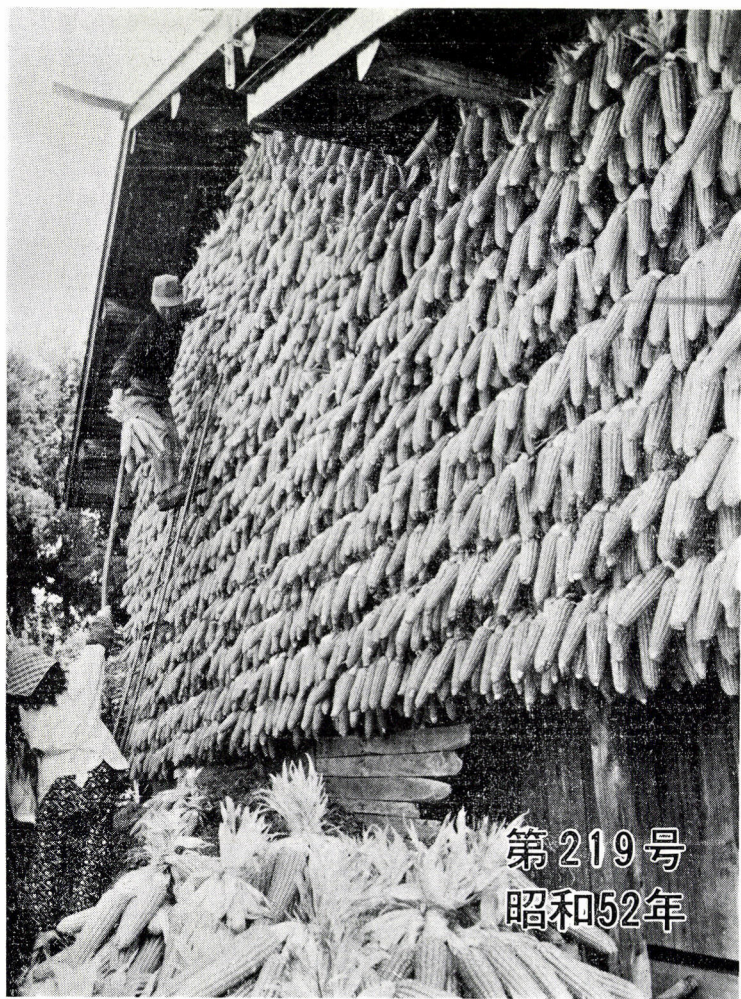


広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]



第219号
昭和52年

人口

— 9月30日現在 —

9,737人	男… 4,724人	女… 5,013人
世帯数……………	2,629	
転入 61	出生 9	
転出 65	死亡 3	

トウキビの掛け干し

朝晩の冷え込みも厳しく、外輪の山々は紅葉がひととき映えます。町の農家では陸稲、刈り干し、トウキビなどの取り入れも、ほとんど終わり、本格的な冬の訪れを前に越冬準備に入りました。サイロの普及で掛け干しはめっきり減りましたが、それでも軒下につるされたトウキビの配列は鮮やか。やわらかい日差しを受けて乾燥したトウキビをタナにかける農家の人も、豊かな実りに静かな満足と安らぎの表情がみえます。

11月1日

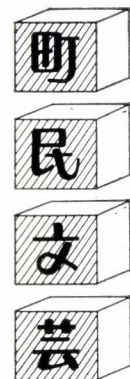
おもな内容

- どう使われた!?一般会計14億4,800万円……(2~3)
- 合併20周年を迎えた高森町……(4)
- 改築進む河原小学校……(5)
- 荒牧さんらに名誉賞(畜協30周年共進会)……(6)
- 高森の歴史散歩・郷土の博物誌……(7)
- みんなの広場・解放の力……(9)

12月4日	11月27日	11月20日	11月13日
高森本町医師会	高森小島医師会	高森寺崎医師会	高森東医師会
②0016	②0075	②0378	②0309

日曜
在宅医

診療は午前9時から午後5時まで



肥後狂句

釣れん、芹どん詰めて戻る手巾
こまごまと、嫁ぐ娘にまだ言い足らん
吸わぶって、又泣き出アた男乳
こまごまと、ほんに見て来た如たる嘘
育ちが育ち、テールマナー責められん
釣れん、運動員の雑魚(さこ)過ぎて
育ちが育ち、熟睡しきる留置場
こまごまと、注意の並ぶ通知表
頭、渡世にかけちや五ばっかり
釣れん、今夜はケチな客ばかり
吸わぶって、孫の寝顔のもぞかしさ
釣れん早う戻って昼寝しゅう
良か季節、どこも個展の同志当り
吸わぶって、眼のゴミ取ってやらす親

俳句

湯の町を過ぎて芒の径に入り
腰曲る母に手伝う秋衣
秋天やリフト次々人連ぶ
登り詰め見返る燈や初紅葉
貼り残す立て付け悪き障子かな
飛び交すきさちばった牧の径
南郷の稲田眼下に峠越ゆ
赤い羽根母子の胸に挿され居り
落慶の仏舎利塔に萩の雨
紅葉けし根子真向いに画架を立て
旅心地図に育てて秋灯下
初栗を孫の土産に選り揃う

弥永落子
内田文子
松岡のぶ子
柴田ふい子
桐原とし子
林久恵

岡本琴司
林田一声
浦塚南天
馬原馬笑
田上黙公子
林不忘
林田瑤子

おめでた おくやみ

出生	住所	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
上在	杉本	隆雄	豊一	男	52.9.12
昭和	岩下	健治	治宣	男	52.9.13
下町	鬼海	元幸	美紀	女	52.9.12
西中原	櫛木野	孝一	誠	男	52.9.15
前原	荒牧	祝一	秀行	男	52.9.20
横町	宮内威	真一	真美子	女	52.9.28
冬野	加藤	五雄	雄士	男	52.9.28
中園	住吉	和也	玲司	男	52.10.2
西丁	宇藤	育三	タカ子	女	52.10.10

死亡

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
横町	葛城	サエ	夫 葛城 次男	82	52.9.14
下町	佐伯	健	父 佐伯 近	81	52.10.5
中園	緒方	武文	父 緒方 新又	94	52.10.11
〃	宇藤	虎夫	妻 宇藤 マサエ	40	52.10.15
菅山	甲斐	寿市	縁故者 甲斐 スミエ	77	52.10.14

雑詠

秋思

社倉 今泉 多美江(84)

てならひの筆をとどむる虫のこゑ
無我よりさめてものおもふかな
ものおもふ袖にふりくる夕しぐれ
ぬれてとぎれるなく虫のこゑ

生きざまの違いいたしかに秋裕
落葉寄せ鯉寄せ今朝の神の池
稲架の数日々に増え行く阿蘇棚田
新刊書開くときめき秋灯
絶好の子等の遊び場刈田跡
コスモスのみな陽に向き揺れてをり
選ばるる仔牛艶やか鰯雲
予定なき今日を大事に障子貼る

古庄 泰子
平田 るり子
岩下 扶美
山村 ふみ子

(ご) (寄) (付)

高森町社会福祉協議会に対して
次の方々から温かいご寄付がありました。
▽片口の本田保文さんから
(父、清さん・79歳死去)
▽高森下町の佐伯建さんから
(父、近さん・81歳死去)
— 以上、香典返し —
▽高森旭通りの興和渡さんから
(快気祝いに代えての寄付)
【その他の寄付】
▽高森保育園に、高森天神の三井
治男さんから金一封。

私は県代表としてこれに参加する機会を得ました。そこで私の主な大会研修地だった渥美郡の農業を紹介してみたいと思います。

愛知県の渥美といえば、日本でも最も有名なマスキメロンの大産地であると同時に、電照菊栽培の盛んなところ。私たちの住む阿蘇と気候風土の違い、また露地

全国農村青少年技術 交換大会に参加して

河 原 白 石 吉 勝 (23)

「愛知で流す汗は土への想い、明日への誓い」を大会スローガンに掲げ、第七回全国農村青少年技術交換大会が、さる七月二十六日から二十八日にかけて愛知県で開かれ、

核家族とか、親子断絶という言葉が流行し、何とも寂しい世相ですが、ここに心温まるご家庭を紹介したいと思います。

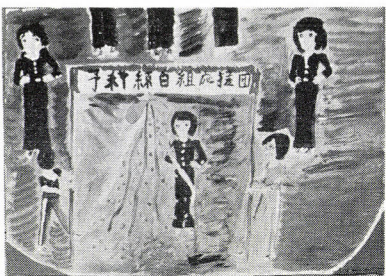
近所にはほえましいご家庭が……

上色見前原 後 藤 ハルミ (68)

私の家の近くにお住まいの後藤磨・フミヲさん老夫婦は、息子さんの英範さん若夫婦とお孫さんらに囲まれ、ここの敬老会では暗れて金婚表彰を受けられました。

また、こうした子や孫の親切を素直に受けられる老夫婦もいっぱい。日ごろから同慶いたしておりました。最近の新聞では親子関係

みんなの 広場



「運動会の応援」

河原小 6年 後 藤 和 美

野菜と施設野菜など諸条件は異なりますが、農家一戸当りの所得が、全く比較できないということ

渥美は関係機関の話によると、一戸当たりの平均年収は一千五百万円から二千万円だということ

す。また近年各地で深刻化している農業後継者問題にしても、同地方では全然関係ないといわれます。それだけに農家生活、農業経営に魅力があるのでしょう。

戦後日本の教育が、いろいろな方面から反省されています。頭でっかちで体力がない、おちこぼれが多、などなど……。

解放の力

わが校の「同和教育」

高森小学校長 野 田 誠

みなの子どもたちが、自分の心の中にある差別に気づき、自分の問題として考えて、みんなで助け合っていくよう成長してもらいたいと思います。

こうした悪評高い教育の中に「同和教育」というのが叫ばれはじめました。

昭和四十四年に「同和对策事業特別措置法」という法律が出て、教育界は大あわてに、この問題を教育でどう取り扱ったらいかと研究しはじめたわけです。研究すればするほど、これは大へんだ、これは教育の根本じゃないかと驚いているのです。なぜなら人間の

た ! ?

会 計

14億4,800万円

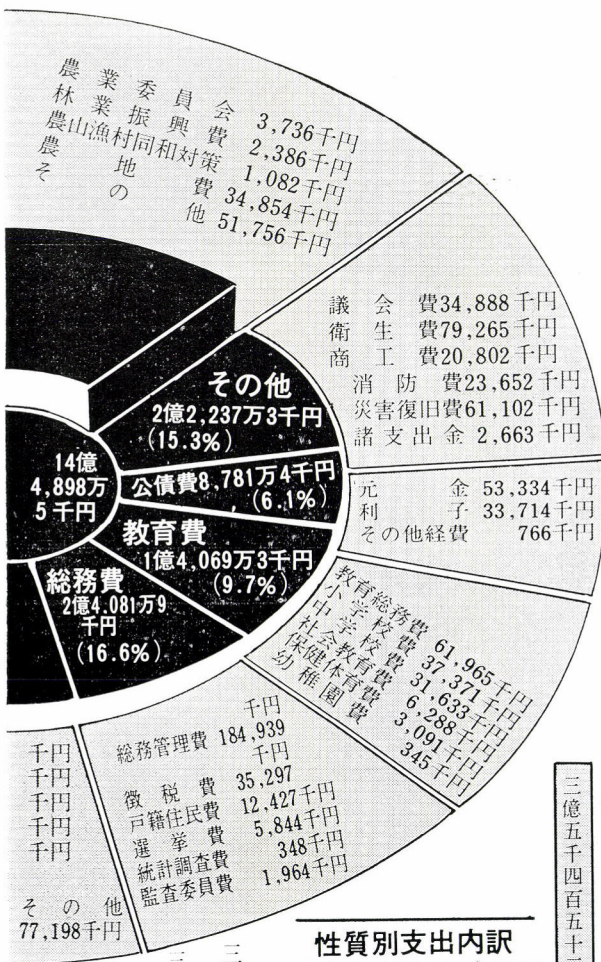
51年度
決算

特別会計決算

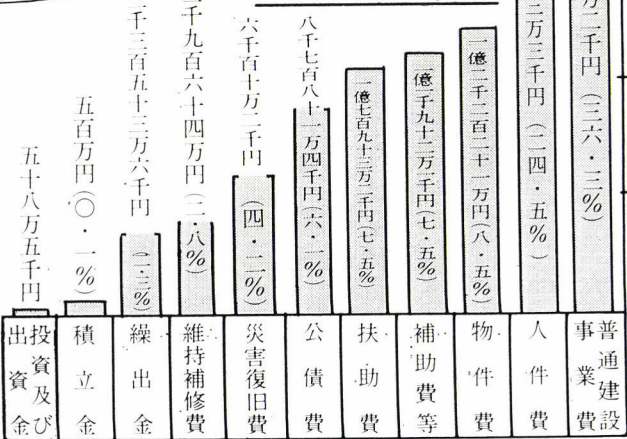
五十一年度の一般会計は五つの特別会計についての決算が、九月定例町議会で認定されました。予算と決算は町づくりを進めていくうえで欠くことのできない重要なものですが、なかでも決算は、予算が青写真にすぎないのに比べて、一年間という長いコースを走ってきた町づくりの記録でもあります。

【国民健康保険特別会計】歳入 三億四千三百七十万円 歳出 三億九百八十三万四千円【簡易水道特別会計】歳入 五千九百五十五万六千円 歳出 五千五百二十八万四千円

【住宅改修資金貸付金】歳入 三百七十六万円 歳出 三百四十二万円【母子福祉貸付金】歳入 百十九万六千円 歳出 百二十二万円【奨学資金貸付金】歳入 二百四十五万八千円 歳出 二百二十三万二千元



性質別支出内訳



町有財産

山林	原野
5,206,900㎡	5,733,900㎡
建物	宅地
28,897㎡	234,092㎡
基金	自動車
8,868千円	17台

お知らせ・お知らせ

特別減税の還付を受けよう

税務署から還付請求金額の「お知らせ」を受けた方で、まだ特別減税の還付を受けていない方がおられるようです。

このような方は、なるべく早く税務署長あてに「還付請求書」を提出してください。「還付請求書」の用紙は「お知らせ」といっしょにお手元に送付してあります。

なお、税務署への提出は郵送でも結構ですが、還付金額を受取る郵便局名と、氏名欄の押印を忘れないようにご注意ください。

中小企業の退職金共済制度に加入を

しっかりした退職金制度を持つことがむずかしい中小企業に国がバックアップして大企業と同じような退職金を支払うことができるようにしようというこで生まれたのが「中小企業退職金共済制度」です。

▼この制度に加入できるのは①従業員五十人以下の小売、サ

ビス業②百人以下の卸売業③三百人以下の製造業などその他の業種

▼申し込み方法は、所定の申込書に一月の掛け金を添え、銀行など一般金融機関に提出することになってます。

なお、詳しいことは県労政課(096366-1111)でおたずねください。

52年度青年海外協力隊員を募集

青年海外協力隊事務局では五十三年度の第一次派遣隊員を募集しています。

【資格】満二十〜三十五歳の男女

【業種および派遣国】農林水産、製造、保守操作、土木建築、保健福祉、スポーツ、教育などで、ア

アジア、アフリカ、中近東、中南米、南太平洋など二十数カ国

【派遣期間】二年間

【願書締切り】十一月三十日

◎詳しくは返信用切手二百円を同封して①一五〇 東京都渋谷区広尾四一―二二四 青年海外協力隊事務局、または県庁総務課広報外事課移住外事係へ資料をご請求ください。

訓練校で技能身につけよう

労働市場のきびしい雇用状況の中で、技術を身につけて生活の安定を図ろうと、熊本総合高等職業訓練校では、五十三年度入校の生徒を次の要領で募集しています。

【二年訓練】十八歳未満の中学校または高等学校卒業、機械科三十、板金科一五、電気機器科一五、自動車整備科一五、ブロック建築科二十、塗装科一五、計百十名。

【一年訓練】二十五歳以下の高等

学校卒業生。機械科四十名。

【応募方法】五十三年度三月に、新規中、高校卒業の方は、学校経由で、その他の方は直接、同訓練校または公共職業安定所へ入校願いを提出してください。

【募集期間】▽二年訓練―五十三年度一月九日から三月二十四日

▽一年訓練―同一年九月一日から三月二十四日。

◎特典として訓練生には技能者育成資金(月約五千元)の貸付制度や交通機関の学割があります。詳細は訓練校または公共職業安定所に直接お問い合わせください。

新しい国民年金委員決まる

本年十月一日から町の新しい年金委員が次のとおり決まりました。

国民年金の給付、資格、免除など年金制度に関したことならなんでも結構です。お気軽にご相談ください。

年末融資制度のご利用は早目に

年の瀬まであと一ヶ月。町内小中商工業者の方は、そろそろ年末の資金ぐりの準備中と思われますが、町商工会では国民金融公庫関係、市町村ならびに県特別小口、年末短期融資、その他の融資制度を取り扱っています。個々の業態、企業の都合、体質に合ったものをご利用になり低連景気からの離脱を図ってください。

年も押し迫りますと、各金融関係も業務が繁忙になりますので、できるだけ早く(十一月初旬ごろまで)にご相談、お申し込みを済ませますようお願いいたします。

また事務局前の掲示板に職安から寄せられた求人票も張り出しています。どうぞご利用ください。

詳細については町商工会事務局(020274)におたずねください。

11月7日から年賀ハガキ発売

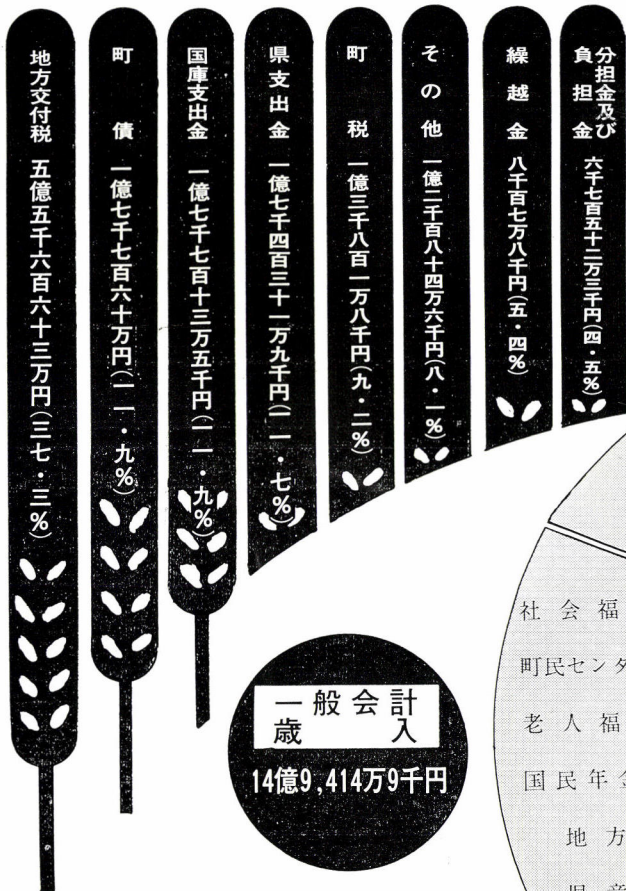


あなたの街です。自然です。

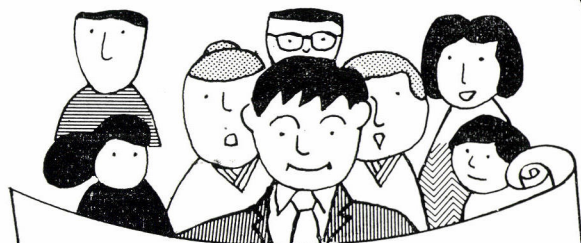
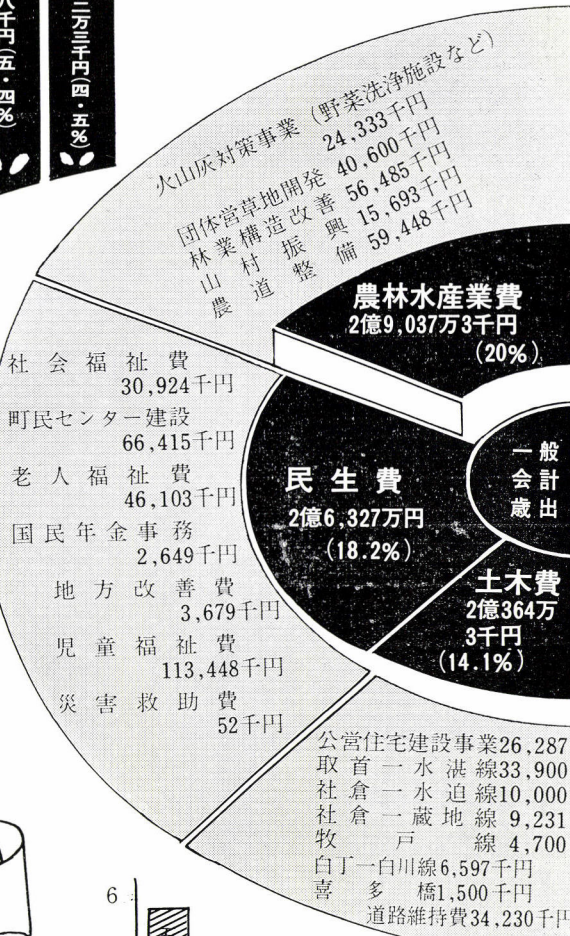
Smokin' Clean

日本専売公社

どう使われ一般

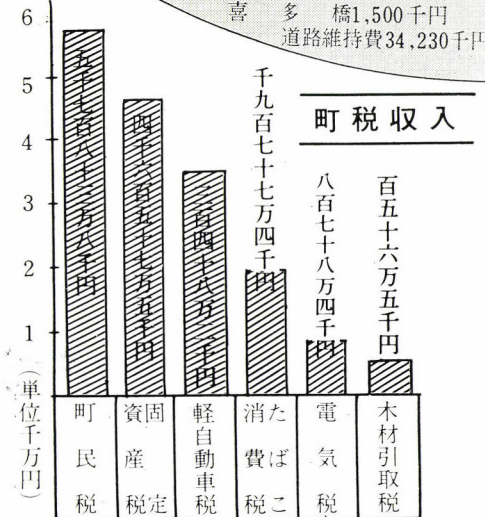


一般会計入
歳
14億9,414万9千円



町民1人あたりの決算のわけ

収 入		支 出	
交 付 税	56,827円	農 林 水 産 業 費	衛 生 費
町 債	18,131円	29,645円	8,092円
国庫支出金	18,084円	民 生 費	災 害 復 旧 費
県 支 出 金	17,796円	26,877円	6,238円
町 税	14,906円	土 木 費	議 会 費
そ の 他	12,439円	20,790円	3,561円
繰 越 金	8,277円	総 務 費	消 防 費
分 担 金 及 び		24,586円	2,414円
負 担 金	6,893円	教 育 費	商 工 費
		14,363円	2,123円
		公 債 費	諸 支 出 金
		8,965円	271円



合併20周年迎えた高森町

盛大に成人式祝う

町政功労者の表彰も

ことし合併二十周年を迎えた本町は、十月一日午前十時半から南阿蘇国民休暇村で盛大に記念式典を行い、町の成人式を祝いました。



合併二十周年記念式典の会場

式典には町内外の招待来賓、町政功労者など約三百人が出席。国歌斉唱、合併後の町民物故者に対する黙とうのあと、岩下町長が「合併以来、町勢がこのように進展を続けることのできたのは関係各位のご指導、ご協力のたまものです。今後とも町発展のため、精いっぱい努力したい」と式辞を述べました。

このあと、松田町議会議長のあいさつがあつて、町政の各分野で功労のあつた四十三人に町から表彰状と記念品が手渡されました。

次いで山村町議が表彰者を代表して「町がさらに発展するよう及ぶ限りの支援をしたい」と謝辞を述べ、このあと県知事代理の松下県出納長、地元選出の今村県議らが祝辞を述べました。

本町は昭和三十年四月に旧高森色見、草部の三カ町村が合併し、その後も三十二年に旧野尻村も編入合併、人口一万三千九百人、面積一七五・四三平方メートルの新町としてスタートしました。以来、町では道路整備をはじめ、土地改良、産業振興、学校施設の増改築、公営住宅建設、簡易水道新設など各分野の施設整備に鋭意努力しているところとす。とくに近年は農業構造改善事業、林業構造改善事業、山村振興事業、開拓パイロット事業、高原開発事業など国、県の効率補助事業に伴う基盤整備の確立が効を奏し、高冷地野菜や畜産団地づくりにより一大飛躍をもたらしました。

一方、国道二六五号、同三二五号線の完全舗装とともに、観光面でも待望の南阿蘇国民休暇村が昨秋にオープンするなど、将来はますますの発展が期待されている現状です。

同日行われた町政功労者四十四人の氏名は次のとおりです。

▽町議（四期以上） 松田富男、山村英男、桐原清保、甲斐一誠、古沢元氏▽農業委員（四期以上） 工藤保、今村千鶴▽選挙管理委員（四期以上） 後藤貞夏▽教育委員（四期以上） 山村純代、本田三孝▽固定資産評価審査委員（四期以上） 古庄専▽嘱託駐在員（五期以上） 和田千敏、佐藤幸喜▽国民健康保険運営協議会委員（五期以上） 村嶋泰尚、山村一郎、本田利夫、津留大吉、森頭信、本田勝信、小林常雄、桐原市喜、平田美絵▽消防団関係（現職分団長以上二十五年勤続以上） 山村一郎、宇藤明、鶴林寿典、岩下一良、桐原正光、本田登、熊谷和文、阿南哲文、興梠嘉利、古沢豊喜、吉良山盛雄▽職員関係（勤続二十五年以上） 瀬井浪夫、内田秀憲、小嶋猛、後藤サカエ、本田富雄、加藤貞治、岩下十三男、甲斐敏、森口敏生、古庄末幸、野尻逸司

防火意識“高めよう”

11月26日 秋の火災予防運動

火災の多発期を迎えました。ことし十一月二十六日（土）から十二月二日（金）の一週間にわたり、全国一斉に「秋の火災予防運動」が実施されます。

この期間中に各職場では、防火管理者の統制のもとで自主的な消火、避難訓練が実施されると思いますが、町でも消防団員による火

の元点検を行う一方、広報車を繰り出して、みなさんに火災の発生防止と人命安全の確保を図りたいと思います。

最近の火災の特色は、死者が増加する傾向にあって、特に幼児、老人の犠牲が目立っています。また多数の人が出入りする旅館、病院などの関係者の防火意識が低く

防火管理の不徹底が多く指摘されていることから、次の事項を運動の重点項目として実施します。

◇家庭にあっては①幼児、老人だけ残して外出することは極力さけよう。また安全な避難方法を考えよう②就寝前の火の元点検、自分が使う火は消すまで責任をもとう③一日一回は防火について反省しよう。◇職場にあっては①職場ぐるみで消火、通報および避難訓練を実施しよう②消防用設備を総点検しよう。

高森の歴史散歩

教育長 今村としお

本田秀行先生のあとを受けて、教育長の今村俊男先生が今号からご執筆になられます。

高森町は数多くの名所史蹟に恵まれており、この歴史を学び、郷土の先哲が残した偉業を偲ぶことは、私たちにとってきわめて大切なことです。

今号から野尻地区の事蹟と文化財を中心にご紹介していただきまので、ぜひご愛読ください。

甲斐有雄翁の偉業

しました。南小国にも翁の道しるべが多くあり、そのお礼のための墓参りということに温まる一日でした。

翁は明治時代のかくれた社会事業家で尾下多々野の人。石工職。慶応四年御郡簡、苗字帯刀を許され、明治三年河原組戸長、三十三歳のときから石道標建設を始めました。明治四十二年に八十一歳で亡くなりましたが、阿蘇郡はもとより上益城、飽託、西臼杵、直入郡などに、なんと千八百二十四基という道標を辛苦をなめながら独力で建てました。

津留町と多々野原に長野一誠氏が書かれた頌徳碑がありましたが、男爵阿蘇惟敦公から贈られたうた「世のために心つくしの石ぶみは、よろづ代つきぬ功なりけり」と記されています。広漠とした原野で道に迷わないようにと奉仕された翁の偉業は、誰もまねのできないことで、どれだけ人々が助かったか知れませんが、役場の瀬井助役さんは翁の曾孫で、同家には有雄翁の自筆の記録が多く残っています。

どのような動機から一生をかけて道標を建てられたか、これも

昨年、NHKの記者が訪ねてきました。折一緒に調べておられますと、翁の「晴雨雑集日記」の中で次のような記事を見つけました。

「安政七年十二月、まれにみる大雪で、津留の人、道に迷い倒れ死亡。また高森の床屋太兵衛、黒岩峠で大雪に迷い死す。」とあり翁が二十九歳のときです。さらに三十一歳のときも大雪との記事もあり、世のため、人のため尽さんと発願されたと思われまふ。また

きちようめんな翁は克明に道標建設記を書き、場所、宿主、運搬協力者などが詳細に書かれています。なお、短歌、狂歌の勉強された記録も残っており、翁の道標の横には「右たけだ」「左のみち」「ひろと」表面右に「いにしえの名のみをつげる札峠、まよはぬために人にほどこし」とあります。西南戦争では、熊本の旧藩士、賊軍に加担しました。

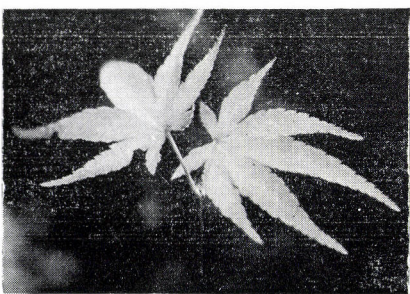
このことを「肥後狸、薩摩狐に

だまされて、西郷べ（最後尾）かふた面のぬくさ」とやゆした狂歌が、翁の著者「肥の国軍物語」にあります。資性篤実、無欲でん淡、五十年間しとして世のため尽した人、短歌狂歌により庶民の哀歌をうたいあげた人。このため多くの表彰を受け、昭和三十三年県近代文化功労者となりました。まことに翁は郷土に灯をかけた偉大な人です。

郷土の博物誌

26

タカオカエデ



ことしの紅葉の美しさは例年にもまして華やかな幕明けだった。台風の影響もなく、順調な気候のうつろいのせいである。

霜は降らなかつたが、めっきりと冷たさを感じた朝、まだ緑のカーテンを下ろしたような川田代の崖に垂れ下った一本の木が赤く変化したと思ったら、それはまるで野火のようにみるみるうちに炎を飛ばして、またたく間に野尻高原を真赤に彩ってしまった。

そのうえ雲一つない紺碧の空に映える反対色の対比は、一層

も、この紅葉するということは、いったいどういう意味があるのだろうか。

もう枝を離れ、風に散ってし

まうだけで、すっかりいらなくなったはずのものなのに、どうしてこのように美しく装われるのだろうか。私たちは造物主の心をはかることはできないが、この美しい贈物に無条件に感謝を捧げ、賛美せずにはいられない。

さて、紅葉する木々の中で、やはり代表的なものはカエデの種類であるが、その中でも高森で一番普通なものはイロハモミジと呼ばれるタカオカエデである。

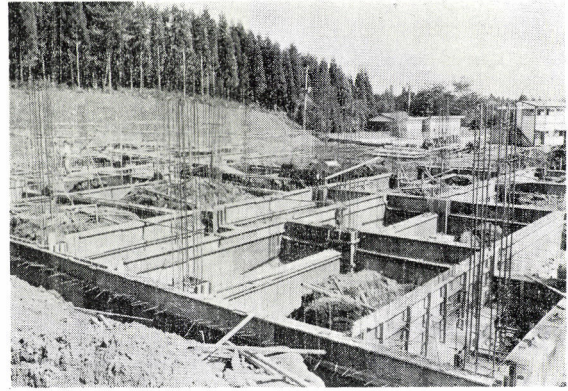
本誌では白黒の写真でしか表現できないが、いさぎよく散る前に精いっぱいのお化粧をした最後のひとひらに感謝を込めて、お別れのカメラを向けた。

（カエデ科）

町文化財保護委員 佐藤 武之

来春4月開校めざす

改築進む河原小学校



工事が始まった河原小の危険校舎改築

河原小学校(田中光章校長、四十一人)の新校舎建設工事は、来春四月開校をめざして急ピッチで進められています。

現在の河原小学校は昭和二十九年に建てられた木造平屋建てで、台風のために被害が出るなど安全性の面で心配されていました。こ

のため地元のPTAなどから町に改築の要望がありましたが、経済変動に伴う町財政の窮迫から今日まで延び延びとなっていました。新しい校舎が建設されているところは、町が昨年度に買収した学校プール(河原中学校南側)に隣接したところ。いまの小学校は県道をはさんで校舎と運動場があり近くに高圧線も通っているため、児童の安全性を配慮して移転するものです。

建築工事は九千四百十八万八千円で、校舎鉄筋コンクリート平屋建て(普通教室四、視聴覚・音楽室一、学習センター一、職員室一)延べ六百八十平方メートルと鉄骨建てのへき地集会所(三百平方メートル)と給食室(七十平方メートル)、さらに運動場なども整備されることになっています。

なお、四十六年度に県施設課が

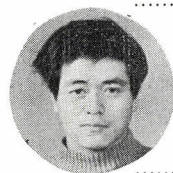
町内各校舎の耐力度調査を行った結果では、野尻小、尾下小を除く六小学校と河原中学校を合わせた七校舎が危険校舎に指定されています。

司法試験に
みごと合格

高森の津留さん

高森津留の津留美雄さん(四九)の長男、清さん(三三)は、このほど法務省が行った司法試験にみごと合格しました。

津留さん



この司法試験は裁判官、検察官、弁護士など法律実務家になるためのもの、

国家試験のなかでも最難関の一つといわれています。ことしの受験者二千九百二十四人のうち合格者は、わずか四百六十五人で、実に合格率は一・五九割という厳しさ。

津留さんは四十三年三月に高森中学校を卒業した後、自からの希望で熊本農業高校(農学科)に進み、卒業後は二年ほど家業の農業を手伝っていました。しかし、幼いときから勉強が好きだったことから再び進学を思いたち、畑仕事が終わった後は自室にこもって勉強を続けました。その結果、二年間のプランクにもかかわらず、四十八年度の熊大法文学部入試に合格、いらい法科—大学院へと進み、現在は博士号取得に頑張っています。

経済発展に役
立つ郵便貯金

郵便貯金は日常の経済生活の安定と財産づくりのお手伝いをするとともに、皆様の暮らしに係る深い住宅の建設、生活環境の整備公害の防止、農林漁業、中小企業の近代化、道路、鉄道の建設、文教施設の充実など国民の福祉の向上と経済の発展にたいへん役立っています。郵便貯金に対するいっそうのご理解とご支援をお願いいたします。

△高森郵便局▽



国民年金は、老齢年金を受けるためには保険料を二十五年以上納付していることが、また障害年金や母子年金などの短期年金を受けるためには、最近の一年間の保険料を全て納付していることが必要です。

このように、年金を受けるためには保険料を納付しておくこ

保険料は必ず納めましょう

とが不可欠な条件となっています。ところで、あなたは国民年金の保険料はもう納められましたか。

でと納めています。納付期限までに保険料を納めていませんと不慮の事故にあったときに障害年金などの給付を受けられない

ことにもなります。必ず納期限までに保険料は納めておきましょう。

保険料の納め忘れを、そのま

また、生活が苦しくて保険料が納められない人は、保険料の免除制度もありますので国民年金係にご相談ください。

◇収 入 2,120,840円

1. 共同募金配分金	276,371円
2. 県社協助成金	52,800円
3. 町助成金	100,000円
4. 寄付金	1,017,012円
5. 繰越金	533,719円
6. 諸収入	140,938円

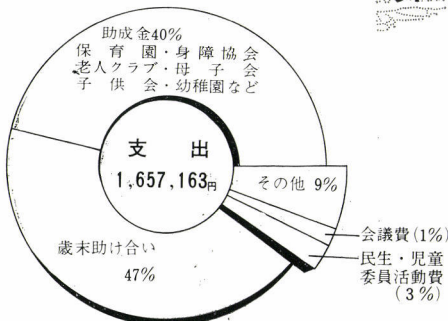
◇支 出 1,657,163円

1. 会議費	16,080円
2. 事業費	1,641,083円

＜事業費の主な内訳＞

○民生委員、児童委員活動費	51,400円
○歳末助け合い	773,207円
○保育園、幼稚園、老人クラブ母子会、子供会、身障協会などへの助成	664,660円
○その他	151,816円

◇繰越金 463,677円



にぎわった南阿蘇畜協共進会



南阿蘇畜協30周年共進会開く

荒牧さん(見)らに名誉賞

肉用種牛
未經産部

高森支部が団体優勝

南阿蘇畜協創立三十周年記念の南阿蘇畜産共進会は九月二十三日・二十四両日、本町旭通りの同畜協で開かれ、南郷の各町村から集まった畜産農家でにぎわいました。

町からも五十三頭が出陳するなど畜産農家の意欲がうかがえました。

また今回は同畜協の発展に尽力された前組合長の小屋迫一氏の顕徳碑除幕式が行われたほか、三十年の歩みを示す写真や資料、畜産関係の農具なども展示されました。

開催両日ともあいにくの雨でしたが、佐々木県畜産課長ほか県畜産試験場技師らが、肉用種牛、豚

種、乾草など七部門を厳格に審査した結果、肉用種牛の未經産部で高森支部が優勝しました。

なお、恒例のミス畜産には、本町から谷川清美さん(高森)、柄木野和代さん(上野見)、熊谷基子さん(野尻)の三代表が出場しましたが、いずれも準ミスに選ばれました。

各種目ごとの名誉賞獲得者は次

【登録牛】▽後藤和昭(色見)

【系統牛】▽野尻俊幸、白石博昭

城井若生(以上野尻)

【肉牛】▽名誉賞首席「荒牧弘幸(色見)」「名誉賞」宇藤茂吉(色見)

のとおりで。 (本町関係のみ)

【存牛】▽荒牧清光、後藤唯夫(以上色見)、佐藤直三(野尻)

【未經産牛】▽桐原朝雪、津留明(以上高森)、本川朝一、荒牧清光(以上色見)、富永刀男、本田忠士(以上草部)

菊地郡菊陽村戸次(旧上益城郡白水村)の出身。満洲から二十一年に復員後、県警入り。北署を振り出しに本渡、三角、水俣などの各署を回って、四十三年から一年八カ月を小国署次長

その後は県警本部勤めで鑑識課

次席、鑑識課次

席、警務課企画調

査官を歴任されま

した。身長一・六

五、体重六十七

キ。

「とりつきにくい

が心はやさしい」とは自己評。

基が趣味(下手の横好きと謙そ

ん)。家庭は知笑子夫人(四〇)と

一男一女。自宅は熊本市保田窪

本町。五十二歳

だき積極的に取り組む覚悟で

す」

山道路や国民休暇村などができ

たこともあって、「観光客、交

通量とも漸増の状態。そこで交

通問題、青少年非行防止等につ

いて、みなさんのご協力をいた

す」

高森警察署長と

して赴任された



岩下安男氏

「高森町は対外的に平和で人情豊か、それに同姓も多く親し

みを感じ

ます。南

郷谷は近

年、道路

が著しく

整備され

南阿蘇登